



# 金星とすばるをみよう！

金星とすばる（プレアデス星団<sup>せいだん</sup>）が近くにいる<sup>にくがん</sup>みやすくなっている。肉眼でもみられるが、<sup>も</sup>持っている人は双眼鏡も使いながら探そう！

## <探し方>

暗くなってくると、西の方の空にほかの星と<sup>だんちが</sup>段違いに明るい星がみえてくる。これが金星で、<sup>みぎがわ</sup>金星の右側にあるもやとしたかたまりが<sup>むずか</sup>すばるである。肉眼ではみるのが難しいが、金星のすぐ下の方には天王星もある。



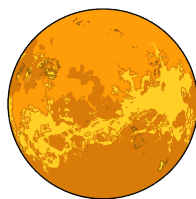
4月24日19時30分ころの空（StellaNavigator/アストロアーツ）

## ☆金星とまわりの星の位置関係<sup>いち かんけい</sup>

2026年9月ごろまで<sup>よい</sup>宵の空で金星を楽しむことができるが、金星は星座の星たち<sup>あいだ うご</sup>の間を動いているようにみえるため、<sup>じつ まいにち</sup>実は毎日位置が変化している。金星とすばる・おうし座のアルデバランは今日は上の図のように<sup>へんか</sup>ならんでいるが、4月30日にはどうなっているだろう？（スケッチや写真で記録をとるのもオススメ！）<sup>しゃしん きろく</sup>

## ☆金星

- ・太陽<sup>たいよう</sup>のまわりを回る星で「惑星」<sup>わくせい</sup>のひとつ
- ・分厚い雲<sup>ぶんあつ くも</sup>が太陽の光をよく反射し、とても明るくみえる
- ・金星をおおっている雲<sup>ねつ と</sup>が熱を閉じこめるため、表面<sup>ひょうめん</sup>の温度が<sup>おんど</sup>非常に高くなっている（500度ほど）<sup>ひじょう</sup>



金星◎松谷

## 次回観察会のおしらせ

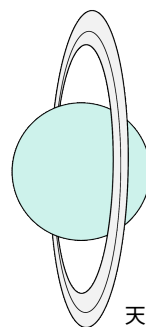
2026年5月19日（火）

19：00～21：00  
（最終受付20：30）

テーマ「金星・月」

## ☆天王星

- ・太陽のまわりを回る星で「惑星」<sup>わくせい</sup>のひとつ
- ・表面<sup>こおり</sup>が氷でおおわれている
- ・細い輪<sup>ほそ わ</sup>がある
- ・自転軸<sup>じてんじく</sup>の傾きが大きく、ほぼ横<sup>よこ</sup>だおしになっている



天王星◎松谷

天体メモ



すばる◎国立天文台

## ☆すばる（プレアデス星団・M45とも）

- ・たくさんの星<sup>あつ</sup>が集まっている「星団」<sup>せいだん</sup>のひとつ
  - ・比較<sup>ひかくてき</sup>的若い星が多い
  - ・肉眼<sup>にくがん</sup>でもみることができ、もやとしたかたまりにみえたり<sup>しりよく</sup>
- 視力がいい人はその中に6個ほどの星がみえたりする